

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-26

学校名・団体名	魚沼市立堀之内中学校
HPアドレス	<a href="http://www.horch.educity.uonuma.niigata.jp/">www.horch.educity.uonuma.niigata.jp/</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	ふるさと「堀之内」に会社を起ち上げよう！Ver.2!
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>地域商工会と連携して起業体験学習（地域祭礼「お神送り」での出店販売）を実施し、子どもたちの豊かなキャリア形成（人間関係形成能力）とふるさと「堀之内」への愛着をさらに育む。</p>	

## ふるさと「堀之内」に会社を起ち上げよう！Ver.2!

### 1 概要

堀之内中学校では、「総合的な学習の時間」において1~2年生で職場訪問・職場体験、3年生で起業体験学習に取り組んでいる。「総合的な学習の時間」の柱としてキャリア教育を実践し学年ごとに積み重ねるとともに、地域や社会とのつながりを大切にしている。3年前から、毎年11月1日に魚沼市堀之内商店街で行われる「お神送り（地域祭礼）」に参加しており、今年度は3年生3クラス6社による出店販売を行った。この取組では事前学習を重要視し、「自分の生き方」に迫る総合的な学びになるよう、「何を学びたいのか」、「何を課題とするのか」を発見・自覚させる。また、「課題発見」のプロセスを大切にし、アクティブ・ラーニングの考え方を取り入れた。今年度は、Ver. 2として地元事業主とのコラボ商品を開発するなど、実社会との連携強化に取り組んだ。

### 2 目的・ねらい

#### (1) 社会とかかわる

自らが生活する地域社会において、模擬会社「株式会社〇〇」を設立・運営することを通して、社会の中で得る勤労体験の尊さや金銭感覚を学び、自己の今後の生き方、進路選択に生かしていく。

#### (2) 自分をつくる

自らが模擬会社「株式会社〇〇」の社員として働くことを通して、自己の考えを実践する力を養い、仲間と協働する中で、自分の生き方を明確に捉え、自己の進路選択に反映させる。

### 3 ながれ

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 会社について知る   | 地元事業主1名による起業体験講話を行う。(7月)  |
| (2) 会社を作る      | チーム分け、社長・会計・製造部長・販売部長を決定する。(7月)                                     |
| (3) 会社の方針を決定する | 会社名・企業理念・事業内容・販売商品を決定する。(7~9月)                                      |
| (4) 商品開発       | 商品開発を行い、商品に関する意見聴取を行う。(9月)  |
| (5) 販売計画の作成    | 販売数量、値段を決定し、販売計画書を作成する。(9月)   |
| (6) 株主総会を開く    | 株主総会を開催し、会社説明を行う。商品の意見聴取を行う。(10月)                                   |
| (7) お金を集める     | 1口500円で出資者を募る。(10月)   |
| (8) 商品を販売する    | お神送り（地域祭礼）に出店し、販売を行う。(11月)  |
| (9) 決算報告書を作成する | 決算報告書を作成する。(11月)  |
| (10) 株主総会      | 株主総会を開催し、事業報告や利益分配を行う。(11月)   |
| (11) 事業主から学ぶ   | 地元事業主4名による、職業講話を行う。(11月)  |
| (12) 職業観を養う    | 地元事業主4名と生徒によるパネルディスカッション「働くことは人生においてどのような意義をもつのか」を行い、職業観を醸成する。(11月) |

バンズは地元パン屋から仕入れ、中身は、フルーツや生クリームを挟んでいる。

### 4 実践の成果

#### (1) 社会とかかわる

地域や社会とのかかわりで、生徒の目を外に向けさせ、地域社会の一員であることの実感を持たせた。生徒が地域の行事に積極的とかかわることによって、地域の祭を盛り上げることができた。

卒業式当日には、商店街に卒業を祝うメッセージボードが並ぶなど、学校と地域社会の結びつきを強く感じた。



商品開発



商品名：フルーツバーガー

#### (2) 自分をつくる

企業体験において1人1役を与えられ、自分の役割を果たすこと、つまり「働くこと」を通じて人や社会にかかわり、将来に向けて「自分らしい生き方」について考えられるようになった。

平成27年12月に実施した生徒アンケートでは、「総合的な学習の時間においてキャリア教育で将来の生き方や職業・進路についての考え方を深めることができた」と答えた生徒の割合は89%となり、前回調査から数値が向上した。



株主総会



お神送りでの販売